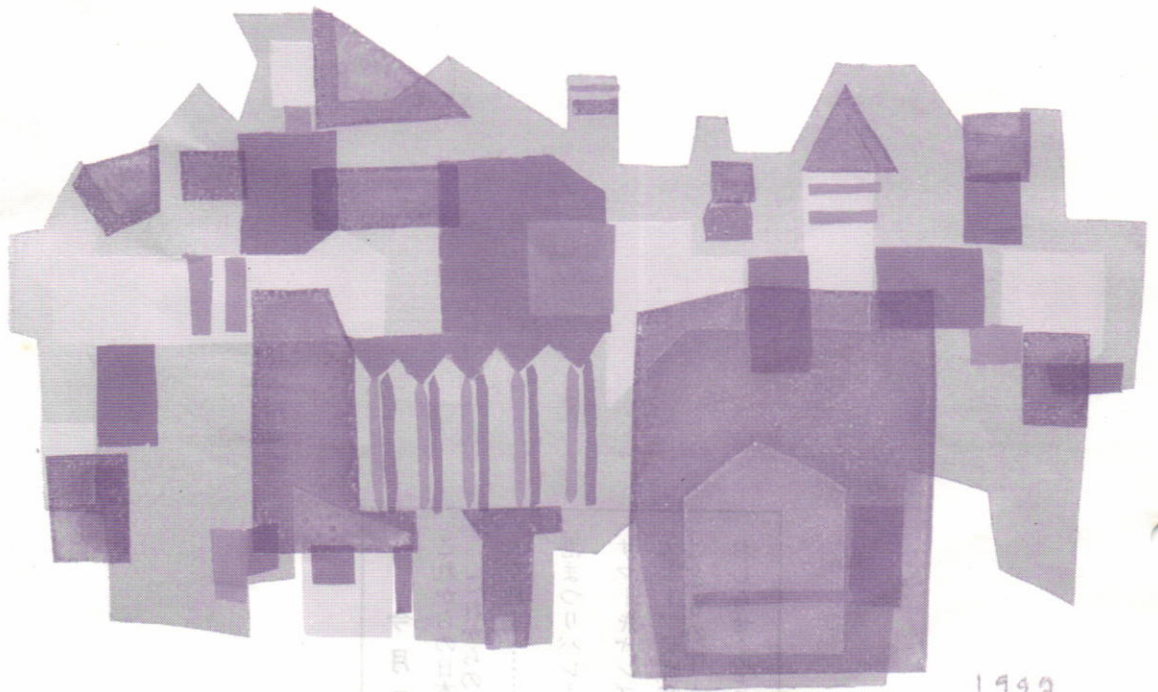


日本錬成館より



尺巻目次

日本

錬成館

1998年

368号

N. TSURUTANI

1999

1998年 368号

（この雑誌は）

| | |
|-----------|---|
| おしらせ・あとがき | 7 |
| こどもの作文 | 6 |
| スポーツ奨励賞 | 5 |
| サマーキャンプ | 4 |
| 港まつりパレード | 3 |
| 青空教室 | 2 |
| これからの教育 | 2 |
| これからの日本 | 2 |

これからの日本 これからの教育

— グローバル・スタンダードをめぐる —

副館長 野田 式

最近の経済情勢についてよく分らないことが多く、山さんが川さんに聞いてみました。

山…最近よく、グローバル・スタンダードという言葉を目にしますが、一体どういうことなのですか。

川…日本語にしますと、「国際基準」ということです。日本の金融・企業を米国並びに国際金融資本の考えた国際基準に合わせるということです。

山…日本は日本のやり方でいいのに、なぜ外国の基準に合わせなくてはならないのですか。

川…これまでの経緯から話しましょう。米国の戦後日本に政治、教育などの改革、財閥の解体などを求めましたが、米国の核の庇護のもとに、日本は経済を復興・発展させることができました。七〇年代には米国に次いで世界第二の経済大国になり、欧米を脅かすまでになりました。

△円高誘導▽

ところが、八五年のG五のブラザ合意での円高誘導政策の決定に始まり、八七年のG七のルーブル合意による各国の協調介入によって円は上昇を始め、合意基準である一ドル一三〇円に瞬間に達成し、更に一ドル一〇〇円を越えるまでに上昇しました。

追い詰められた日本政府は超低金利政策で景気を無理やり煽りましたが、余ったお金は投資に廻された株や地価を高騰させてバブル経済をもたらしました。残念なことに、当時は円高が金融戦略であることを知らず、

又、米国の不動産や企業を買わされたことも知らず、「日本は米国から学ぶものにはやない」と自己陶醉と慢心に陥っていました。

△バブル崩壊▽

同時に、大蔵省と証券業界は裁定取引という方法を導入しましたが、その運用方法を知り尽

したソロモン・ブラザーズ、メルリンチ、モルガン・スタンレーなどの国際金融機関がその巨大な資本力で裁定取引を駆使して株価を上げ、九〇年の年明けから一気に売り攻勢に出て、大暴落が始まったのです。

△海外移転▽

一方、円高による損失を防ぐため、日本企業は安い賃金を期待できる東南アジアへ工場を移転しました。そのため、雇用が減少し、失業が拡大して国内消費が冷え切っています。九八年には欧米並みの四・一%を記録しています。それに追い討ちをかけたのはアジア通貨危機です。海外へ工場を移した企業は大打撃を受けました。

△買収とBIS規制▽

体力の弱った企業を買収する前に、日本ではメイン・バンクが企業の株を持ち合うため、国際金融資本はBIS（国際決済銀行）を動かし、日本の銀行に自己資本率を資産総額の八%以上に高めることを要求しました。これがBIS規制と云われ、グローバル・スタンダードの典型です。

そして、不良債権を抱える銀

行からつぶれていきます。銀行がつぶれると融資先の企業がつぶれ、生き残った企業でもリストラをします。今年八月には、失業率は男四・四%、女四・三%と過去最多の二九七万人の失業となりました。約三〇〇万人の年収に換算すると約一〇兆円の金額の損です。

日本政府は財政赤字の解消を安易に考え、消費税引き上げを断行してしまいました。これは国内消費がますます悪くなるのは当たり前です。

山…なるほどよく分かりました。他にも例がありますか。

川…今年の夏に幾つかの企業は環境汚染対策の国際基準に基づいたマニュアル作りをしたと言われていますが、次にIAS（国際会計基準）に合わせるよう求められ、合わせることができない企業からつぶれていき、買収が更に進むと予想されます。

山…外国資本に買収されないためにはどうすればよいですか。川…幕末、第二次世界大戦前も失敗しましたが、先ず国際感覚を身につけ、国際法に強くなることです。これはこれからの教育の目標でもあると思います。

行事レポート

柔教室

青空教室開催

七月十九日(日)

庄川右岸にて

父兄の感想

西海明美

真空道場開催にあたり、お世話をさせて頂くこととなり、何度か師範方と打ち合せを行ない準備を進めていきました。子供たちもそんな姿を見てか、お母さん大変だね、なんて声をかけてくれました。

いつもは、夜、道場でしか顔を合わせることはない子供たち、ましてや送迎時にちよつと言葉をかわずだけの親たちが、親子そろって朝早くから集まって、いつもとは違う景色と澄んだ空気の中で練習をするのは、とても新鮮な感じがしてよかったです。練習後、みんなで食べた焼そばは、格別なおいしさでした。これを機会に、ますます柔教室のみんなが、なかよく元気に練



青空道場

朝日を浴びて

習に励んでいけるようになるといいな、と思いました。
お手伝いをして下さった皆さん、有難うございました。

本郷和美

夏休みは、柔の青空練習で始まりました。
朝六時、庄川右岸に集合し、それから二時間余り、気合の入った練習と、ハッスルしたゲームを楽しみました。その後は、メイン(?)のパーベキュー。炭火おこし未経験の父兄をサポートする師範の方々。暑さの汗と、あせりの冷汗も、火種がついた時は、爽快な汗となりました。

山盛りの焼そばを嬉しそうにそしてダイナミックに頬張る子供を見ながら、「練習は厳しいけれど、こんなに楽しいこともあるよ!これからも頑張つて!と九月に行なわれる、柔の検定にむけて、エールを送りました。

平成十年度

倫心流柔術・段・級審査会

平成十年九月十九日(土)

実施

昇段者

二段 谷内 信行
初段 大川 英一

昇級者

四級 橋本 信行
七級 大川 康二

小学生

三級 立野 由大
三級 西海 将高
四級 川口 貴大
五級 橋本 紘幸
六級 本郷 紘幸
七級 浦本 貴泰
八級 田幸 恵
九級 森美 奈子
一級 森美 奈子
八級 一宮 健郎
九級 金宮 健郎
十級 西海 拓吾
十級 稲尾 拓吾